

じょうちゅうぜきちいきしげんほぜんきずなかい

上中堰地域資源保全絆会（長野市）

• 組織の活動面積 A= 60 ha	組織形態	農地維持 <input checked="" type="checkbox"/>	資源向上(共同) <input type="checkbox"/>	資源向上 (長寿命化) <input type="checkbox"/>
• 組織の構成員数 約 79 人	取組開始年度	平成26年～	—	—

構成員	上中堰土地改良区役員・総代
-----	---------------

本地区を潤す水は犀川から取水し、自然流路で田畑に水を供給していますが、その昔は、犀川の氾濫に農民は幾多の苦勞を重ねて米作を主力として生産してきました。今から400年前徳川家康の六男「松平忠輝」が松代藩の城主になったおり、荒廃した水路を、松代家老「花井吉成」・「花井主水義雄」親子2代に渡り3年の月日を得て開削されたもので、爾来、犀川の氾濫、善光寺地震等の幾多の大被害に見まわれ、その度に、取水口を上流に求めて改修工事を行いながら水を守ってきました。昭和32年に小田切ダムが完成し、ダム堰堤から取水し安定供給ができるようになり、農家の方々は、水の大切さを肌で感じている地域である。このため、用水路の永続的使用を図ることに取り組んでいます。

命を育む水を大切に



堰掘実践活動



掘浚い実践活動



小堰に分配する水門の塗装工事